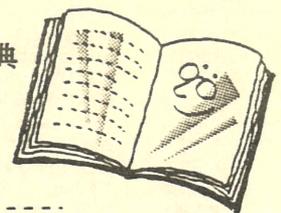
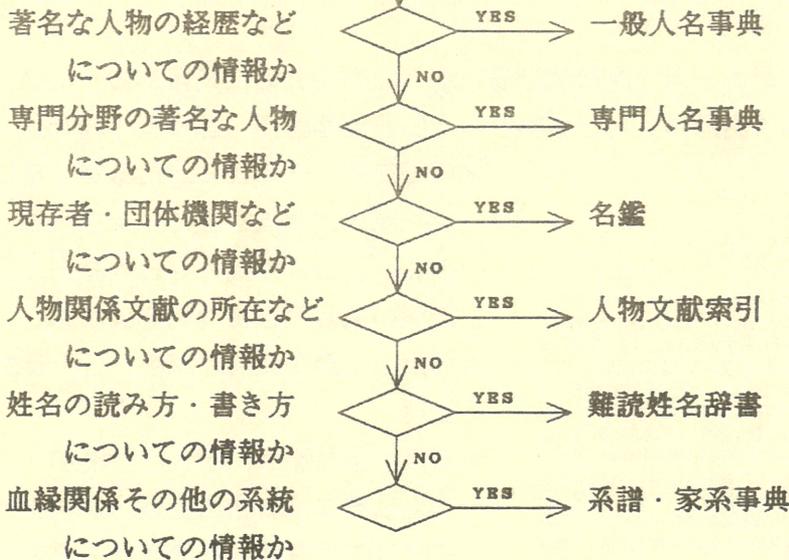


人物や機関団体に関する情報を得る

あるひとについて、「名前の読み方を知りたい」「略歴や研究分野を知りたい」「物語の中の主人公の名前を正確に知りたい」そんな時どうされますか。

人名関係の情報は百科事典その他各種の事典、また伝記書のほかに一般図書、雑誌など多種多様な資料に含まれていますが、人名を見出し語とする「人名事典」「人名鑑」「人物文献索引」「難読人名事典」「系譜事典」などの参考図書を図書館では用意しています。また団体・機関についてもそれぞれの「名鑑」があります。

人と機関に関する情報要求



1. 著名な人物の経歴など……「一般人名事典」

人名事典は人名を見出し語として、それぞれの経歴事項：姓名、その変名・読み、生没年、出生地、学歴、職歴、業績などに解説を加えて項目とし、それらを事典形式に編集しています。

Q. 舎密局の教頭として勤めた「ハラタマ」の生年月日を知りたい。

検索例。『岩波西洋人名辞典』増補版 岩波書店編集部編 岩波 1981

* 収録範囲：欧米人に限らず、中近東、アフリカ、大洋州、インドまでも含む古今の著名人、中国や日本に関係のあった西洋人。若干の架空人名や神名を含む。

- * 見出し：カナ氏名、五十音順配列
- * 項目：①見出し人名 ②人名原綴 ③生没年、元首にあっては在位年 ④本文⑤著書・作品・文献

* 索引：人名原綴索引、漢字名を持つ人の漢字名索引。

パラダス

1060

パラダス (希) Pallas 4世紀頃のギリシアの短詩詩人。アレクサンドレイアの人。生活は貧窮し、彼の歌う詩もまた憂愁の氣に充ちている。『ギリシア詞華集 Anthologia Graeca; Palatina』に多くの作が収められている。

ハラタマ (フラタマ) Gra'tama, Koenraad Wouter 1831. 4. 25-88. 1. 19. オランダの化学者、陸軍軍医。ユトレヒト大学で化学、医学を修め(1864-66)、来日、長崎養生所(後の精得館)の分析窮理所の指導に当り(66: 2), 上記の施設が江戸の開成所に移されるや、開成所に赴任(67)、我国で最初の物理学、化学の講義を行った。開成所の物理・化学施設を大阪に移して舎密局と称するや(68: 明治1)、その教頭として同局に勤め、のち辞任(70)、帰国した(71)。[著書] 英蘭舎密学略。1868; 舎密局開講の説。1869; 理化新説。1870; 英吉利舎密略。1871。

を盛にの層を(バラータ。後筆やか。(グイチ: ック劇場ユネツィ ma. 15) バラ dimirc 生化学共和国 キエフ; 化学を? レーニン 学的性質

Q. 「福内鬼外」のペンネームで浄瑠璃を書いた人の本名と他に業績を知りたい。

検索例。『コンサイス人名辞典』(日本編) 上田正昭等監修 三省堂 1976

ふくうち きがい 福内鬼外 =平賀源内 ひらが げんない
ふくおか たかちか 福岡孝弟 1835~1919(天保6~大正8) 明治時代の政治家 福内佐(彦知典)。④通: 932

3) 参政とな
二郎ととも
説き、武力自
となり、五ヶ
に加筆、第
(列侯会議田・富竹
で政体書公
か村、1
渠という。
と造成し、
17(天保
山口県)、
し、越後
ら、70工
繕局長
知田地

子。④陸奥国弘前。⑤八三郎、のち充致、画号を魯仙、俳号を芦川、魯齋は著述号。|| 天与の画才があり、12歳のとき、弘前藩士工藤五風に画技の手ほどきをうけ、平内雲林に師事、南画の基本を修める。21歳で今村漢舟に狩野派を学ぶ。また儒学を松田駒水、俳諧を内海草坡に学ぶ。40歳ごろから、国学研究を行ない、とくに平田学派に興味を示した。⑥「合浦奇談」「宏斎抄話」「谷の響」「平田のうしの妖魅考」ひらが げんない 平賀源内 1729~79(享保14~安永3) 江戸中・後期の本草学者・戯作者。⑦高松藩足軽白石石良房の3男。家督後先祖の平賀姓となる。⑧讃岐国支度浦。⑨国倫敦。字は士養、通称元内・源内、号を鳩溪、戯作号を風来山人・天竺浪人・紙鸞堂、浄瑠璃号を福内鬼外、俳号を李山。|| 1752(宝暦2) 藩命により長崎に留学 医学、蘭学を学

* 収録範囲：全時代にわたるが、特に近・現代に重点を置く。架空人名、神名も含む。外国人も日本歴史と直接深い関わりを持つ場合は収録。

* 見出し：かな氏名と漢字、五十音順配列

* 項目：①見出しかな人名、漢字 ②生没年③系譜④出生地⑤別号など ⑥学歴⑦異説⑧墓所⑨著書・参考文献⑩本文

* 索引：見出し項目の漢字画数順索引

3. 現存者・団体機関など……「名鑑」

現在活躍中の人物について知るには「人名鑑」が有用です。これは履歴事項は簡潔ですが、広範な人名を記載している点に特色があります。団体・研究機関また会社企業などにもそれらの「団体名鑑」があります。

Q. 作家「村上 龍」の現住所が知りたい。

村上 龍 (むらかみ りゅう) 昭和27年11月12日生まれ、東京都東大和市清水二丁目1-15。早大英文中退。洋装、神は踏く、偉人の研究事典。村上・龍(むらかみ・りゅう) 長崎 昭27 2 19。電之助 昭33 4 4。金沢市緑区美しが丘3-40。武蔵野 昭51 上。忍び 昭10。明 昭11 5。二六九二。

検索例、『著作権台帳』日本著作権協議会 第20版 1988

著作者、芸能家、プロスポーツマン、ジャーナリスト、一般人名、故人の名簿から成る「個人台帳」、および著作権使用者、会社・官庁、学界・研究所、学校、図書館・美術館・動物園等の名簿から成る「団体台帳」、さらに「外国著作権台帳」がある。
*索引：人名索引(総画、五十音順配列)、団体索引、外国人名索引。

Q. 「日本イエイツ協会」の経緯と刊行物が知りたい。

検索例、『全国学術研究団体総覧』昭和63年版 日本学術協力財団編 日本学術会議事務局監修 大蔵省印刷局 1988

日本学術会議の調査結果に基づき、国内の学協会を専門分野別に分類配列。

*項目：名称(欧文名併記)、所在地、代表者名、設立年月日・目的、創設経緯・沿革、会員数、集会、刊行物、国際関係など。
*索引：団体名称索引、五十音順配列。

49. 日本イエイツ協会
THE YEATS SOCIETY OF JAPAN

所在地 〒606 京都市左京区吉田二本松町 京都大学教養部英語研究室 電話 代表 075(751)2111 内線6620
代表者 大浦幸男(就英女子大学教授) 設立 昭和40年6月
創設経緯・沿革 昭和40年がイエイツ生誕100年に当たるので、昭和39年9月に準備委員会が開かれ、翌40年に学会が創設された
目的 わが国におけるイエイツの研究の促進を目的とし、あわせて海外の研究者との密接な連絡および協力をはかる
会員数 会員175
集会 年次大会(1回/年)
刊行物 会報 Bulletin(1回/年, 120頁/年, 400部)
国際人物交流等 外国人科学者の招へい等 昭和59年9月 カナダ 1人 一部負担 昭和60年10月 アイルランド 1人 一部負担 昭和61年10月 アイルランド 1人 一部負担

4. 人物関係文献の所在などを……「人物文献索引」

個別の人名事典には人名索引がついているほか、複数の人名事典、人名関係資料などを対象とする索引があります。

また、同じく人名を見出し語とする索引で、その関係文献を検索することのできるものがあります。この種の索引を「人物文献索引」といいます。

Q. 「佐久間象山」の業績と典拠資料名を知りたい。

検索例. 『人物レファレンス事典』 1. 古代・中世編、2. 近世編、3. 現代編

日外アソシエーツ 1983

* 収録範囲: 37種 113冊の既刊諸辞(事)典から、日本人名18万人分を抽出。日本姓を持つ外国人、在日朝鮮人を含む。

* 見出し: 人名、五十音順。

* 項目: 生没年、身分、職業、肩書、出生地、出身地、典拠資料名とそれらにおける記述量・肖像の有無などを記号で提示。

⇒人名③

佐久間象山 さくましようざん

1811~1864 幕末の学者、開国論者。名は啓、字は子迪、のち子明と改む。通称は修理。④信州松代。

⇒人名③〔像〕; 入書; コン; 世人; 伝記〔像〕;

維新; 詩歌; 教育(さくまぞうざん); 世百〔像〕

(さくまぞうざん); 大百〔像〕(さくまぞうざん)

← 見出しの典拠

() は相異 [像] は肖像あり

* は記述量

Q. 建築家「安藤忠雄」の経歴と彼について書かれた文献を知りたい。

検索例. 『年刊人物文献目録 '81』 1. 日本人編、2. 外国人編

日外アソシエーツ 1982

* 収録範囲: 当概年に刊行された図書・雑誌から、内外の人物の伝記、叢伝、日記、作家論、書誌、年譜、人物論など。

* 見出し: 人名、五十音順配列。

別)・日本元風又子 21(1) 昭55.1

安藤 忠雄 あんどう ただお

○特集・安藤忠雄: SD スペースデザイン 201 昭56.6

作品=詩+ドローイング“中之島第三の道”その他 33点

時代の透き間から(二川幸夫)

素材に対する強い執着から生まれた爽やかな形態の抽象性(対談)(西沢文隆、楳文彦)

厳格な形式の内に宿るやさしきたおやかなものたちの世界—こころみとしての安藤忠雄論(竹山聖)

◇作品データ

◇活動年譜

○リンスギャラリー、北野アイビーコート(設計・安藤忠雄建築研究所): 新建築 56(10) 昭56.9

北野町の4つの仕事を通して(安藤忠雄)

安藤さんのこと(高橋誠一)

○:

安藤

○:

特集

○:

安藤

○:

二川

○:

安藤

○:

竹山

○:

作品

○:

安藤

○:

新建築

○:

北野

『パリ、シネマ』

リュミエールからヌーヴェルヴァーグにいたる映画と都市のイストワール』
 ジャン・ドゥーシェ、ジル・ナドー共著 (フィルムアート社)

アメリカの諸大学では毎年2000もの学術論文が映画をめぐる執筆され、日本でも東京大学教養学部をはじめいくつかの国立大学で映画を主題にした卒論が登場しはじめたというから、この100年にも満たない歴史しかない映画という物語ジャンルをめぐる、世界中いたるところですでにフィルムの数と同じ数だけの言葉が費やされてきたかもしれない。しかしフィルム・スタディーズにかぎったことではないが、その学問領域での入門書にして必読書という類の書物を捜そうとおもえば、それが考えるほど容易なことではないことは当該学問領域の深化と拡大におもいをはせれば明らかである。

さてここに紹介する書物は、現在のところもっとも得るところの大きいフィルム・スタディーズの入門書にして必読書である。豊富な写真図版がいきいきと映画都市パリの変遷をしめしてくれる本書の二人の著者のうち、ジャン・ドゥーシェはパリ大学ヴァンセンヌ校をはじめ各分校で映画論を講じてきた「教育者」でもある。

日本語で読めるすぐれた入門書としてはすでにジェイムズ・モノコの『映画の教科書』(フィルムアート社)があるが、『パリ、シネマ』は書名が暗示するように、映画の発祥の地としてのパリ、映画の被写体としてのパリ、映画作家たちのインスピレーションの水源としてのパリをもっぱら年代記的に記述してゆく。しかし、これは単なる「教科書」的記述に終始するのではない。映画都市パリの網羅的映画史でありながら、随所に新しい発見、魅力的な考察が散りばめられた映画愛好家による映画愛好家のための書物でもある。映画を学問の対象にするにせよ趣味の対象にするにせよ、いまこの一冊を読むことは、映画がいかに豊かな想像力の発現の場であるかを改めておもしろらせてくれることになるだろう。

われわれはただちに教養部図書館に駆けつけて『パリ、シネマ』を手にとり、これを読まなければならない。
 (英語/映画 加藤 幹郎)

教養部図書館の
 所蔵紹介

『パリ、シネマ』 ジャン・ドゥーシェ、ジル・ナドー共著
 梅本洋一訳 1989 フィルムアート社 [開架 778.2/P/1]
 『映画の教科書』 ジェイムズ・モノコ著
 岩本憲児等訳 1983 フィルムアート社 [開架 778 /E/9]